



巻頭言 選挙を振り返る

増田望三郎です。昨年10月の市議選で2249人の方にご支持を頂き3期目の当選を果たしました。1回目1967人→2回目2025人→今回2249人と支持が広がっているのは、議員として大変嬉しいことです。「望三郎を支持してよかった。」と皆さんに思ってもらえるよう、この4年間も議員の役割を果たしていきます。

▼投票率ダウンが止まらず

今回の選挙は民主主義崩壊の足音が聞こえる、そんな危機感を持ちました。投票率が前回より7%ダウンの55.59%に。市長が変わる、若い世代の候補者が多数という話題性。市民有志による候補者の政策紹介の取り組み。私もオンライン含め発信を重ね、今まで以上に今回の選挙の意義を語りました。それでも投票率は下がりました。既存の啓発方法ではダメなことが明確になりました。ではどうするか。中学、高校での主権者教育にもっと力を入れていく。**例えば議会が市内4高校を回り、高校生たちと膝を突き合わせて話す場を持ち、議会や議員の仕事や役割について議員自身が語り掛けていく。**移動投票車を用意し高校を回るなど、新しい取り組みが必要です。

▼若手候補者4名の当選と世代交代

その中での光明は、30代40代の若手候補者が6人も市議選に挑戦し4人当選したことです。8年前、40代は私1人でしたから、これはすごいことです。後に続く若手が出てほしいと政治塾を開き、市政を身近に感じられるよう発信を続けてきたことが少しは実を結んだのでしょうか。また総投票数が5500票近く減り、現職議員は軒並み票を落とす中で、候補者が1人になった公明党候補を除けば、票が増えた現職は最年少の小林陽子さんと次に若い私の2人だけでした。さらに4人の若手候補者が当選したことを考えると、若い世代への投票が進んだのだと思います。次なる挑戦者を生み出すべく、4年後に向けて政治塾を再開しようと思います。

▼望三郎選挙はどうだったのか？

コロナで実対面での場が作れなかった分、オンラインでの対話機会を作りました。新成人、現職議員と新人候補者、全国の意欲ある地方議員らとの対話。さらに子ども、教育、福祉、環境などのテーマを決め、市民をゲストに招いての対話。主義主張のしっ放しに終わらず、そこから共通項を見出すために対話をする。その大切さを選挙を通じて実感しました。



みなさん、こんにちは。安曇野市議会議員の増田望三郎です。安曇野市政や議会が市民にとって身近になるために、虹(=Rainbow レインボウ)の架け橋となるような議員活動をしていきます。望三郎の活動はブログやフェイスブック、インスタでもどうぞ。→「増田望三郎」で検索。

望三郎の強みはオンラインの場も含めて対話の場を設けていくことだとも思いました。また市内各所での街頭演説では議会改革と政策を語り掛けました。名前連呼の選挙ではなく、政治への考え、政策を伝え合う選挙へと変えていくことは大きな課題です。



オンラインで政治を考える場をつくりました

▼民主主義を生産しよう！

今回何人もの友人知人から、「投票したい人が何人もいて困る！」という声を聞きました。身近な人がたくさん立候補したという状況は今までには無かったことで、全国の自治体でも珍しいことだったかもしれません。市民のみなさん、悩みに悩んで自分が選んだ人が、この4年どんな議員活動をするのかを、ぜひ選挙後も注目し続けてください。私に投票した方も、ぜひ私を注視し続けてください。政治に関心を持ち、市民の立場で市政・議会に物申す。我々議会はそれをしっかりと受け止めて、行政をチェックし、創造的な提案を行う。行政もそれを受け、市民サービスを更に向上させていく。「**民主主義**」を消費するのではなく、**生産する人たちが増えていく。そんな安曇野市にしていきたいです。**

●プロフィール

大分県出身 52 歳。東京経由で安曇野に移住し 18 年目に。三郷小倉に妻と子ども、妻の両親の3世代で暮らす。自給の農業をしながら、出会いと体験の宿『安曇野地球宿(ちきゅうやど)』を経営。安曇野市議、現在3期目。好きな言葉は『出会い、共感、展開』

会派「無会派」について

今回私は他の3名の議員と「無会派」という名称の会派を作り、代表となりました。この分かりにくい名称を説明します。議会運営の要となる議会運営委員会(議運)は8人で構成されます。その配分は、会派ごとの人数の案分で決められますが、会派を組まない無会派議員は、3人以上何人になっても議運枠は一人のままです。これが会派を組んだ途端に、人数応分の枠が与えられます。このような会派優位の議会運営は、「議会の構成員としての議員は、法律、条令など法の上で完全に平等である」とする議員平等の原則から外れています。私たち4人は、当初、会派に属さず無会派でスタートしようとしたしましたが、同じ4人でも会派を組めば議運参加枠が2人になるということで、便宜的に今回会派を組んだのです。会派名「無会派」は、この議会運営への**反意**を込めました。どうぞ御理解ください。

議員活動報告会のお知らせ

会派「無会派」の4議員(小林純子、橋本裕二、増井裕壽、増田望三郎)による合同の議員活動報告会を開催します。市民のみなさんとの意見交換も行いますのでぜひご参加ください。
日時：1月23日(日)午後2時～4時
場所：穂高会館
※コロナ感染が拡大した際は中止になる場合があります。

12月定例会の代表質問

【解説】年4回ある定例会の内、12月定例会は会派代表による代表質問があります。私は会派「無会派」の代表として代表質問を行いました。

望 政治家として大事にする信条は。

市長 嘘をつかない政治だ。

望 行政として特色を出していくこと、そのための官民連携は。

市長 5つの地域を全て同じ色で染めることは必要でない。5つの地域の個性を生かしながら全体として発展の方向に進んでいけば安曇野の価値が一層高まる。官民連携は大変重要。様々な方面の方々に声をかけていきたい。

望 行政の内部統制とコンプライアンスは

市長 市民から信頼される市政が大目標。単に規則やマニュアルを遵守するのではなく、それがなぜあるのかを理解することが市民に対する適切な市政として効果を表す。コンプライアンスは市の職員の責務。徹底する。

望 本市の学校教育は、子供たちの内発的な意欲や自己決定など生きる力を存分に引き出し育てるものになっているか。一人一人の個別最適な学びを保証するために、特色ある学校づくりや学校の多様化を進めることは。

市長 子供たちは地域の宝。個別の個性については教育委員会の取組も必要。また学校の先生方の資質にもよる。個性を大事にした基本的な考え方というものも教師に必要。

望 観光分野の広域連携は。

市長 1市で多くの方を呼ぶよりは、広域で誘致をすることで滞在型の観光に結びつける。点ではなくて、広域で連携して、面でPRすることがコロナ収束後の地域間競争の中で一つのポイント。

望 地下水保全の広域連携は。広域の協議会で危機感の共有、対策の取組の連携等、市長

のリーダーシップは。

市長 地下水の保全及び涵養に関する指針を策定しており、地下水は公共性の高いものと共通認識している。必要に応じて発言する。

望 エネルギーの自給こそ、新しい価値を創造するチャレンジ。その手法としての地域新電力・自治体新電力は。

市長 家庭で消費する電気を屋根につけたソーラーで賄うといったようなことは可能だが、地域全体でのエネルギーバランスを考えた時にはすぐにできることではない。現時点での地域新電力は難しいが、ゼロカーボンの取組の中で再生可能エネルギーへの転換は道筋を示していかなければならない。

望 地域に活力を生み出す空き家活用は。

市長 市内の様々なところで利活用が広まれば、人の交流により経済活動も活発化し、その地域の愛着度や関心が高まる。市の体制も整え、民間の方々の協力を得て空き家や空き店舗の活用を促進し、事業収益を上げる持続的な活動、つながる仕組みを創りたい。

望 投票率の低下の最大の原因は、若い世代が投票に行かないこと、この改善はもはや選挙前だけの対策ではダメ。若者の審議会や若い世代の集

まる市の仕組みを創る時期ではないか。また次代を担う子供たちが政治の主体者だという自覚を持てるような主権者教育に焦点を強くあてる必要があるが。

市長 今はいいアイデアがすぐにはない。若者の当事者の意見を聞きながら考えていかな



ければならない。主権者教育は中学生議会の取組がある。議会とも連携して行政や議会を身近に感じられる機会を作ることが必要。

【まとめ】今回は代表質問ということで、多岐にわたるテーマを広く浅くの質問となりました。次回以降の議会で、個別テーマごとに深く掘り下げ質問していきます。

サポーターからの応援メッセージ 30



山村博子さん

(三郷／会社員・子育てママ)
三郷に住み7年。家族4人(夫と息子(小4)と娘(小2))と自然豊かな環境でのんびり生活しています。望さんとの出会いは、お友達家族で毎年参加する地球宿のブルーベリー狩りでした。

昨年度、子どもの児童クラブ入所について困っていた時に、ふと望さんが市議会議員だったことを思い出し相談をしました。メールを送るとすぐに事情を聞いて下さり、アドバイスを頂きました。私が抱えてる問題をどうしたら解決できるか？この先同じように困る人が出ないようにするためにはどうしたらいいか？「勇気を出して行動すれば、小さくても今よりいい方へ向かっていく。」と望さんは言いました。

その言葉に背中を押され、仲間と共に市議会に陳情を提出し、三郷児童クラブの受け入れ体制の見直しを訴えました。結果、来年度は応募した全員を受けいれる方向で行政が動いてくれていると聞いています。小さくても行動を起こす勇気をくれた望さんにとっても感謝しています。市議会議員と聞くと構えてしまいましたが、年に一度しか会わないような私の相談を親身に受止めてくれる程ですので、望さんは皆さんの声も市政に届けてくれると信じています。

望三郎市議が行く！
第31話

『望三郎、議長選に挑戦！』
出演 ☆ 望市議 ☆ にじと ☆ ピース

にじと 望さん 当選おめでとう
これでゆっくりできるね！

いや、今度は議長選さ
議会の進む方向を
訴えるよ！

選挙でも、議長選に
出るって 言ってたよね

望三郎は
議会で呼びかける！！

①市民にしっかり向き合う議会に

市民からの
意見交換の
申し出があれば
それは受ける

OK!

②投票率の低下を防ぐために新たな取り組みを

市内4高校に出向き、
議会と高校生との
懇談の場を持つ

議会活動の
SNS発信

③政策提言集団の議会に脱皮

委員会主導の政策提言サイクルを
確固たるものにする

議会内討議や、テーマを決めて
市民へ意見聴取を行う

政策条例の
実現を目指す

やってくでね！

議長選 結果は想定内！
議会改革の中身を200%
伝えきって爽やかな気持ちさ

さあ、ここから！

議会改革推進委員会の
委員長にもなったんだね

議会改革、頼むよ！